

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由
11	大気	移動観測車による自動車排出ガス測定については、高松町内の国道 175号において毎年短期間の実施をしており、環境基準を達成しています。		2014(平成26)年度から実施していないため削除。(引き続き、大気測定局での監視は実施)
12	水質	水質汚濁は、家庭や事業所などからの雑排水や工場排水、農畜産業などからの排水が主な原因に挙げられますが、近年は_____工場排水や畜産排水は事業者による設備改善や法令の遵守などにより排水基準を達成しており、特段の問題は発生していません。	水質汚濁は、家庭や事業所などからの雑排水や工場排水、農畜産業などからの排水が主な原因に挙げられますが、近年は下水道の普及・水洗化の促進、工場排水や畜産排水は事業者による設備改善や法令の遵守などにより排水基準を達成しています。(一部追加、一部削除)	下水道の普及、水洗化の促進を追加
12	水質	生活排水については、下水道等の施設整備率はほぼ 100%となっていますが、未接続家庭がまだまだ多く存在しています。	生活排水については、下水道等の施設整備率は100%となっており、_____また、水洗化率は約90%となっています。(一部削除、一部追加)	具体的な水洗化率を記載
12	図表Ⅱ-2	公共下水道水洗化普及率	公共下水道水洗化率	文言の整理
14	水質	下水道に接続していない家庭が散見されます。未接続家庭については、早期の接続が必要です。	水洗化率 100%に向けて、地域と共に水洗化啓発に取り組んでいきます。	今後のさらなる取組の強化
14	騒音・振動・悪臭等	平成22年度_____に本市に寄せられた公害等苦情処理件数は 152件で、_____17件は騒音・振動・悪臭によるものでした。	2015(平成27)年度に本市に寄せられた公害等苦情処理件数は 134件で、そのうち10件が騒音・振動・悪臭によるものでした。(一部削除、一部追加)	年度、件数の見直し

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由
15	緑化の推進	本市の都市計画公園は、総合公園、運動公園、地区公園、 <u>児童公園</u> 、緑地等が21箇所整備されており、平成22年度市民1人当たりの都市公園面積は10.1㎡となっており、国の目標である10㎡を上回っています。	本市の都市計画公園は、総合公園、運動公園、地区公園、 <u>街区公園</u> 、緑地等が21箇所整備されており、2016(平成28)年度の市民1人当たりの都市公園面積は13.0㎡であり、国の目標である10㎡を上回っています。（一部削除、一部追加）	名称、年度、面積の見直し
16	歴史・文化・街並み	本市には、旧来住家住宅が国登録有形文化財に、 <u>檜皮葺^{※56}・柿葺^{※25}</u> が国選定保存技術に登録されています。	本市では、旧来 ^{きし} 住家住宅とコヤノ美術館西脇館が国登録有形文化財に登録されています。（一部削除、一部追加）	コヤノ美術館西脇館を追加
16	歴史・文化・街並み	街並み景観としては、童子山から市街地にかけて板塀、土壁の家や疎水を利用した石組の洗い場など昔からのたたずまいを残す家並み、のこぎり屋根の織物工場のたたずまいなどが点在しています。	特色ある街並み景観としては、童子山から市街地にかけて板塀、土壁の家や疎水を利用した石組の洗い場など昔からのたたずまいを残す家並みやのこぎり屋根の織物工場のたたずまいなどが点在しています。（一部追加）	文言の追加
16	歴史・文化・街並み	伝統的な建築物や街並みなどの歴史的・文化的資源の適切な保全と活用を図るとともに、地域における伝統行事などを、後世に引き継いでいく必要があります。	伝統的な建造物や街並みなどの歴史的・文化的資源については、国や県の制度も利用しながら適切な保全と活用を図るとともに、地域における伝統行事などを、後世に引き継いでいく必要があります。（一部削除、一部追加）	国や県の制度利用を追記
17	防災と環境	本市では、昭和38年、昭和58年、平成16年と約20年間隔で甚大な水害が発生しており、平成16年の台風23号による大雨で市街地を中心に甚大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。さらに、平成23年9月、台風12号による大雨で大きな被害が発生しました。	本市では、1963(昭和38)年、1983(昭和58)年、2004(平成16)年と約20年間隔で甚大な水害が発生しています。さらに、2011(平成23)年9月の台風12号による大雨で大きな浸水被害が発生したことは、まだ記憶に新しいところです。（一部削除、一部追加）	2011(平成23)年の浸水被害を追加

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由
17	防災と環境	近年では集中豪雨が頻発していることから都市型水害の発生も危惧されています。	近年では集中豪雨（ゲリラ豪雨）による都市型水害の発生も危惧されています。（一部削除、一部追加）	ゲリラ豪雨を追加
17	防災と環境	本市では、「西脇市地域防災計画」により、災害時の対処方法が取り決められています。また、広域避難地及び指定危険個所が指定されています。（一部削除、一部追加）	本市では、「西脇市地域防災計画」により、災害時の対処方法が取り決められており、また、広域避難地及び災害危険箇所が指定されています。（一部削除、一部追加）	文言整理
17	広域避難地及び主要避難路の指定状況		⑱ 茜が丘複合施設	図表Ⅱ-14に、茜が丘複合施設を追加

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由																																							
18	防災と環境	<p>指定危険箇所</p> <table border="1" data-bbox="521 392 1104 919"> <tr> <td rowspan="3">重要水防箇所</td> <td>河川</td> <td>加古川(6箇所)、杉原川(4箇所) 野間川(3箇所) 和田谷川(2箇所) 門柳川(2箇所)</td> </tr> <tr> <td>ため池</td> <td>金城池、記念池、庵谷池</td> </tr> <tr> <td>警戒ため池</td> <td>小坂口池、高松口池、富吉上新大池</td> </tr> <tr> <td colspan="2">土石流危険渓流等箇所</td> <td>土石流危険渓流等箇所 112箇所(危険渓流Ⅰ 83箇所) 危険渓流Ⅱ 29箇所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">急傾斜地崩壊危険箇所</td> <td>崩壊危険箇所Ⅰ 59箇所(自然斜面50箇所、人工斜面9箇所)、崩壊危険箇所Ⅱ 52箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">急傾斜地崩壊危険区域</td> <td>9箇所計13.38ha</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山腹崩壊危険地区</td> <td>49箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">崩壊土砂流出危険地区</td> <td>118箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">宅地造成工事規制区域</td> <td>8箇所2,498ha</td> </tr> </table> <p>出典：西脇市地域防災計画</p>	重要水防箇所	河川	加古川(6箇所)、杉原川(4箇所) 野間川(3箇所) 和田谷川(2箇所) 門柳川(2箇所)	ため池	金城池、記念池、庵谷池	警戒ため池	小坂口池、高松口池、富吉上新大池	土石流危険渓流等箇所		土石流危険渓流等箇所 112箇所(危険渓流Ⅰ 83箇所) 危険渓流Ⅱ 29箇所)	急傾斜地崩壊危険箇所		崩壊危険箇所Ⅰ 59箇所(自然斜面50箇所、人工斜面9箇所)、崩壊危険箇所Ⅱ 52箇所	急傾斜地崩壊危険区域		9箇所計13.38ha	山腹崩壊危険地区		49箇所	崩壊土砂流出危険地区		118箇所	宅地造成工事規制区域		8箇所2,498ha	<p>災害危険箇所</p> <table border="1" data-bbox="1240 392 1823 884"> <tr> <td>重要水防箇所</td> <td>加古川(5箇所)、杉原川(4箇所)、和田谷川(2箇所)、門柳川(2箇所)</td> </tr> <tr> <td>土石流危険渓流等箇所</td> <td>土石流危険渓流等箇所 109箇所(危険渓流Ⅰ 82箇所) 危険渓流Ⅱ 27箇所)</td> </tr> <tr> <td>急傾斜地崩壊危険箇所</td> <td>崩壊危険箇所Ⅰ 56箇所(自然斜面51箇所、人工斜面5箇所)、崩壊危険箇所Ⅱ 47箇所、崩壊危険箇所Ⅲ 36箇所</td> </tr> <tr> <td>急傾斜地崩壊危険区域</td> <td>11箇所計14.54ha</td> </tr> <tr> <td>山腹崩壊危険地区</td> <td>50箇所</td> </tr> <tr> <td>崩壊土砂流出危険地区</td> <td>118箇所</td> </tr> <tr> <td>宅地造成工事規制区域</td> <td>8箇所2,498ha</td> </tr> </table> <p>出典：西脇市地域防災計画</p>	重要水防箇所	加古川(5箇所)、杉原川(4箇所)、和田谷川(2箇所)、門柳川(2箇所)	土石流危険渓流等箇所	土石流危険渓流等箇所 109箇所(危険渓流Ⅰ 82箇所) 危険渓流Ⅱ 27箇所)	急傾斜地崩壊危険箇所	崩壊危険箇所Ⅰ 56箇所(自然斜面51箇所、人工斜面5箇所)、崩壊危険箇所Ⅱ 47箇所、崩壊危険箇所Ⅲ 36箇所	急傾斜地崩壊危険区域	11箇所計14.54ha	山腹崩壊危険地区	50箇所	崩壊土砂流出危険地区	118箇所	宅地造成工事規制区域	8箇所2,498ha	危険箇所の見直し
重要水防箇所	河川	加古川(6箇所)、杉原川(4箇所) 野間川(3箇所) 和田谷川(2箇所) 門柳川(2箇所)																																									
	ため池	金城池、記念池、庵谷池																																									
	警戒ため池	小坂口池、高松口池、富吉上新大池																																									
土石流危険渓流等箇所		土石流危険渓流等箇所 112箇所(危険渓流Ⅰ 83箇所) 危険渓流Ⅱ 29箇所)																																									
急傾斜地崩壊危険箇所		崩壊危険箇所Ⅰ 59箇所(自然斜面50箇所、人工斜面9箇所)、崩壊危険箇所Ⅱ 52箇所																																									
急傾斜地崩壊危険区域		9箇所計13.38ha																																									
山腹崩壊危険地区		49箇所																																									
崩壊土砂流出危険地区		118箇所																																									
宅地造成工事規制区域		8箇所2,498ha																																									
重要水防箇所	加古川(5箇所)、杉原川(4箇所)、和田谷川(2箇所)、門柳川(2箇所)																																										
土石流危険渓流等箇所	土石流危険渓流等箇所 109箇所(危険渓流Ⅰ 82箇所) 危険渓流Ⅱ 27箇所)																																										
急傾斜地崩壊危険箇所	崩壊危険箇所Ⅰ 56箇所(自然斜面51箇所、人工斜面5箇所)、崩壊危険箇所Ⅱ 47箇所、崩壊危険箇所Ⅲ 36箇所																																										
急傾斜地崩壊危険区域	11箇所計14.54ha																																										
山腹崩壊危険地区	50箇所																																										
崩壊土砂流出危険地区	118箇所																																										
宅地造成工事規制区域	8箇所2,498ha																																										
20	ごみの排出及び再資源化	本市では、ここ数年の傾向として、ごみの排出量の減少や再資源化率の向上などの面で成果が上がっています。	本市では、ここ数年の傾向として、ごみの排出量の減少_____の面で成果が上がっています。	現状に則した修正																																							
20	ごみの排出及び再資源化	平成21年度_____の資源回収分や事業系ごみを含めた1人1日当たりのごみ排出量は839g/人・日となっており、県内41市町のうち少ないほうから数えて生活系ごみで6番目、事業系ごみで17番目となっています。	2015(平成27)年度の資源回収分や事業系ごみを含めた1人1日当たりのごみ排出量は780g/人・日となっており、県内41市町のうち少ないほうから数えて生活系ごみで7番目、事業系ごみで12番目となっています。(一部削除、一部追加)	年度数値の更新																																							

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由																
20	ごみの排出及び再資源化	リサイクル率は指定袋制の導入により、 <u>分母となるごみ処理量が減少し急速に上昇しましたが、この3年はやや率を下げています。</u> 平成21年度では、 <u>県内29市のうちリサイクル率では高い方から8番目</u> となっています。	リサイクル率は指定袋制の導入により、 <u>急速に上昇しましたが、この数年は導入前のリサイクル率を下回っています。</u> 2015(平成27)年度では、 <u>県内41市町のうちリサイクル率では高い方から19番目</u> となっています。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新																
22	廃棄物処理	平成22年度に本市に寄せられた公害等苦情処理件数は <u>152件</u> で、そのうち <u>53件</u> が不法投棄によるものでした。また環境美化パトロールによる不法投棄廃棄物の回収量は <u>5.3トン</u> ありました。	2016(平成28)年度に本市に寄せられた公害等苦情処理件数は <u>178件</u> で、そのうち <u>49件</u> が不法投棄によるものでした。また環境美化パトロールによる不法投棄廃棄物の回収量は <u>4.1トン</u> ありました。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新																
22	廃棄物処理	2001（平成13）年に施行された「 <u>廃棄物処理法</u> 」で、 <u>特例を除き野外焼却が全面的に禁止</u> されましたが、平成22年度に本市に寄せられた野外焼却に関する苦情処理件数は <u>35件</u> となっており、過去の生活習慣などから依然として行われているのが現状です。	2001（平成13）年に施行された「 <u>廃棄物処理法</u> 」で、 <u>特例を除き野外焼却が全面的に禁止</u> されましたが、2016(平成28)年度に本市に寄せられた野外焼却に関する苦情処理件数は <u>24件</u> となっており、過去の生活習慣などから依然として行われているのが現状です。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新																
24	森林面積	<table border="1" data-bbox="622 1002 1070 1177"> <tr> <td>森林面積</td> <td>9,399ha</td> </tr> <tr> <td>人口林</td> <td>2,269ha</td> </tr> <tr> <td>天然林</td> <td>7,008ha</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>125ha</td> </tr> </table>	森林面積	9,399ha	人口林	2,269ha	天然林	7,008ha	その他	125ha	<table border="1" data-bbox="1348 1002 1796 1177"> <tr> <td>森林面積</td> <td>9,383ha</td> </tr> <tr> <td>人口林</td> <td>2,267ha</td> </tr> <tr> <td>天然林</td> <td>6,994ha</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>122ha</td> </tr> </table>	森林面積	9,383ha	人口林	2,267ha	天然林	6,994ha	その他	122ha	年度数値の更新
森林面積	9,399ha																			
人口林	2,269ha																			
天然林	7,008ha																			
その他	125ha																			
森林面積	9,383ha																			
人口林	2,267ha																			
天然林	6,994ha																			
その他	122ha																			
24	耕地面積	<table border="1" data-bbox="622 1220 1070 1358"> <tr> <td>経営耕地面積</td> <td>1,170ha</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>1,160ha</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>11ha</td> </tr> </table>	経営耕地面積	1,170ha	田	1,160ha	畑	11ha	<table border="1" data-bbox="1348 1220 1796 1358"> <tr> <td>経営耕地面積</td> <td>1,154ha</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>1,074ha</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>80ha</td> </tr> </table>	経営耕地面積	1,154ha	田	1,074ha	畑	80ha	年度数値の更新				
経営耕地面積	1,170ha																			
田	1,160ha																			
畑	11ha																			
経営耕地面積	1,154ha																			
田	1,074ha																			
畑	80ha																			

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由
27	動植物種		「生物多様性」とは何か知られておらず、また、生物多様性に関する環境教育・学習の機会が少ない状況です。（全文追加）	【課題】に追加
28, 69	写真のキャプション	西脇保育園	西脇こども園	名称の変更
29	地球温暖化防止	日本における温室効果ガス ^{※07} の総排出量は、 <u>1,265百万万 t-CO₂換算（2009年度）</u> となっており、世界全体の <u>4%（2008年度）</u> を占めています。	日本における温室効果ガス ^{※07} の総排出量は、 <u>13億2,100万 t-CO₂換算（2015（平成27）年度）</u> となっており、世界全体の <u>3.6%（2014（平成26）年度）</u> を占めています。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新、西暦（和暦）での表記
29	地球温暖化防止	国内の二酸化炭素の排出量は、 <u>11億4,500万 t-CO₂（2009年度）</u> となっており、温室効果ガスの総排出量に占める割合は <u>約95%</u> となっています。	国内の二酸化炭素の排出量は、 <u>12億2,700万 t-CO₂（2015（平成27）年度）</u> となっており、温室効果ガスの総排出量に占める割合は <u>約93%</u> となっています。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新、西暦（和暦）での表記
29	地球温暖化防止	二酸化炭素排出量の内、エネルギー起源によるものが <u>10億7,500万 t-CO₂（2009年度）</u> で約94%、非エネルギー起源によるものが約6%を占めている状況です。	二酸化炭素排出量の内、エネルギー起源によるものが <u>11億4,800万 t-CO₂（2015（平成27）年度）</u> で約94%、非エネルギー起源によるものが約6%を占めている状況です。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新、西暦（和暦）での表記
29	地球温暖化防止	部門別の間接排出量では産業部門が約34%、運輸部門が約21%、事務所・商業・サービス等や家庭などの民生部門が <u>33%</u> 、発電所等のエネルギー転換部門が約7%ほかとなっています。	部門別の間接排出量では産業部門が約34%、運輸部門が約18%、事務所・商業・サービス等や家庭などの民生部門が約35%、発電所等のエネルギー転換部門が約7%ほかとなっています。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新
29	地球温暖化防止	<u>1990年度との比較</u> では、産業部門では約20%の減少、運輸部門では約6%の増加、民生部門では約58%の増加となっています。	<u>1990（平成2）年度と2015（平成27）年度との比較</u> では、産業部門では約18%の減少、運輸部門では約5%の増加、民生部門では約61%の増加となっています。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由
32	環境経済の現状と課題	また、森林と農地が80%を占める本市では、温室効果ガス（特に二酸化炭素）の削減をクレジットに替えて、事業活動や生活において経済的メリット（利益）を得ていく方向に展開していくことで、温室効果ガスの削減に貢献しているとする新しい取組も重要なものになってきています。	また、森林と農地が77%を占める本市では、温室効果ガス（特に二酸化炭素）の削減をクレジットに替えて、事業活動や生活において経済的メリット（利益）を得ていく方向に展開していくことで、温室効果ガスの削減に貢献しているとする新しい取組も重要なものになってきています。（一部削除、一部追加）	年度数値の更新
34	環境と商工業	過去、工業生産においては大量のエネルギー消費や廃棄物の排出とともに発展し、環境に大きな負荷を与えてきましたが、近年は水質や大気をはじめとする環境に対する負荷は大きく改善しています。	工業生産は過去に は大量のエネルギー消費や廃棄物の排出を伴い、環境に大きな負荷を与えてきましたが、環境汚染対策の進展により、近年は水質や大気をはじめとする環境負荷 は大きく改善しています。（一部削除、一部追加）	文言整理
34	環境と商工業		資源小国であるわが国では、原子力の利用を積極的に進めてきましたが、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、これまでのエネルギー政策の転換や再構築が求められています。（全文追加）	【現状】に追加。エネルギー政策の転換等のため
34	環境と商工業	環境ISO ^{※11} 取得や企業CSR ^{※15} の取組など積極的に環境問題に取り組む企業も増加してきています。	環境意識や企業としての社会的責任が高まる中、環境と経済の両立を目指す持続可能な社会の実現に向け、従来の事業活動に関わる直接的な防止対策にとどまらず、環境ISO ^{※11} 取得や企業CSR ^{※15} の取組など積極的に環境に配慮した活動を行う企業も増加してきています。	文言整理

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）
34	環境と商工業	しかし、余力のない中小零細企業や個人事業者においては、厳しい経営環境の中で、日々の事業活動と法令遵守だけで精一杯であり、環境等に対する社会貢献などに取り組めないのが実情です。
34	環境と商工業	一層の省エネ、エネルギーの地域内生産が求められています。各産業の廃棄物をクラスター的 ^{※18} に関連づけて共同資源として取り扱うことで、地産型のエネルギー化に努め、地域のエネルギー自給率を上げることで、二酸化炭素の削減にも貢献していくことも必要です。
34	環境と商工業	環境ISOや企業CSRなど環境活動に取り組む企業を増やしていくことも必要です。
34	環境と商工業	西脇市の良好な自然を活用した企業の育成や誘致をしていくことも必要です。
34	環境と商工業	これからは事業所単位で環境に関する対応を検討するのではなく、業界や異業種間での連携などにより、市内の企業活動全体としての環境ビジネスの展開（グリーン成長）や環境貢献への対応も必要になってきています。



見直し案	見直す理由
環境問題への対応は中小企業や個人事業者にとっても重要な課題となっており、自主的に環境問題に取り組む事業者も多くなってきている一方で、厳しい経営環境の中で、法令遵守はしているものの、環境等に対する社会貢献などに積極的に取り組めていない事業者もあります。	文言整理
世界経済の発展により、資源需要が拡大している中、一層の省エネを推進するとともに、エネルギーの地域内生産が求められています。太陽光など自然エネルギーの活用や産業廃棄物をクラスター的 ^{※18} に関連付けて共同資源として取り扱うことで、廃棄物の削減に努めたり、地産のエネルギー源に着目し、地産地消型のエネルギーを生み出したり、地域のエネルギー自給率を上げたりすることで、二酸化炭素の削減にも貢献していくことが必要です。	文言整理
環境ISOや企業CSR活動など環境の保全に貢献する企業を増やしていくことも必要です。	文言整理
西脇市の良好な自然を活用した企業の育成や誘致を図っていくことも必要です。	文言整理
今後は事業所単位だけでなく、業界やさらには異業種間での連携により、環境ビジネスの展開（グリーン成長）や地域社会に貢献する環境活動への対応が必要になってきています。	文言整理

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）	見直し案	見直す理由
35	環境と消費者	環境問題やエネルギー問題を常に意識する消費者の行動に変えていく必要があります。	環境問題やエネルギー問題を常に意識する消費者の育成が_____が必要です。	文言整理
36	学校園における環境教育・学習	保育所_____や学校園では、米や「日本のへそゴマ（金ゴマ）」等の野菜を栽培し、収穫、調理及び食する体験や給食を通して、地元の農産物・畜産物への意識を高め、愛着や感謝の気持ちを育てる学習活動を推進しています。	認定こども園や学校園では、米や <u>黒豆</u> _____等を栽培し、収穫、調理及び食する体験や給食を通して、地元の農産物・畜産物への意識を高め、愛着や感謝の気持ちを育てる学習活動を推進しています。	現状に則した修正
37	学校園における環境教育・学習	環境体験事業（平成23年度_____の取組） 西脇小学校・・・アイガモ農法（田や畑での体験） 重春・比延小学校・・・ <u>綿づくり</u> （田や畑での体験） 日野小学校・・・水生生物等の調査（川での体験） 双葉小学校・・・稲作・里山・川体験等（田や畑_____での体験） 芳田小学校・・・ <u>動植物の観察等</u> （里山での体験） 楠丘・桜丘小学校・・・ <u>金ゴマ</u> ・黒豆づくり等（田や畑での体験）	環境体験事業（2016（平成28）年度の取組） 西脇小学校・・・アイガモ農法（田や畑での体験） 重春・比延小学校・・・ <u>黒豆づくり</u> （田や畑での体験） 日野小学校・・・水生生物等の調査（川での体験） 双葉小学校・・・稲作・里山・川体験等（田や <u>里山</u> での体験） 芳田小学校・・・ <u>里山体験活動等</u> （里山での体験） 楠丘・桜丘小学校・・・ <u>さつま芋</u> ・黒豆づくり等（田や畑での体験）	取組内容の更新
38	郷土資料館の活動	定期的に「ふるさと歴史ハイキング」を実施し、見過ごしがちな歴史文化遺産を訪れるとともに、_____資料館では市広報紙では「みどころいっぱい西脇ふるさと探訪」を連載しています。	定期的に「ふるさと歴史ハイキング」を実施し、見過ごしがちな歴史文化遺産を訪れるとともに、郷土資料館では西脇市の歴史や地形を展示しています。	取組内容の更新
39	地域等における環境学習	市民エコ会議のような市民活動による環境活動グループが少なく、市民の環境意識の向上を図る必要があります。	市民エコ会議のような市民活動に <u>参画する人</u> を増やす必要があります。	参画人数増加の必要性を明記

環境基本計画における掲載ページ	項目	現計画における「現状」及び「課題」（西脇市環境基本計画に位置付けている施策内容）																
40	環境保全活動	市民アンケートに見る環境意識と行動 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">質 問 項 目</th> <th style="width: 20%;">回答者率(%) (H18→H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>日ごろから省エネや省資源など地球環境に心がけた生活をしている。</td> <td>63.6→67.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>地元（西脇市や北播磨地域など）でとれた農産物・畜産物を意識して購入している。</td> <td>42.9→52.1</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>有機農産物を意識して購入している。</td> <td>40.5→43.9</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>身近な自然環境や生活環境を守るために、近所のごみ拾いなど何らかの行動をしている。</td> <td>38.3→43.2</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>過去1年間で生涯学習活動（各種講座や研修会など）に参加している。</td> <td>25.0→30.0</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>何らかの市民活動や地域活動（ボランティア活動・NPO活動・まちづくり活動など）に参加している。</td> <td>22.9→28.8</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>過去1年間に、環境保全活動（自然観察会や学習会など）に参加している。</td> <td>14.0→16.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：西脇市「平成22年度第4回まちづくり市民アンケート調査結果報告書(平成23年5月)」</p>	質 問 項 目	回答者率(%) (H18→H22)	<input type="checkbox"/> 日ごろから省エネや省資源など地球環境に心がけた生活をしている。	63.6→67.1	<input type="checkbox"/> 地元（西脇市や北播磨地域など）でとれた農産物・畜産物を意識して購入している。	42.9→52.1	<input type="checkbox"/> 有機農産物を意識して購入している。	40.5→43.9	<input type="checkbox"/> 身近な自然環境や生活環境を守るために、近所のごみ拾いなど何らかの行動をしている。	38.3→43.2	<input type="checkbox"/> 過去1年間で生涯学習活動（各種講座や研修会など）に参加している。	25.0→30.0	<input type="checkbox"/> 何らかの市民活動や地域活動（ボランティア活動・NPO活動・まちづくり活動など）に参加している。	22.9→28.8	<input type="checkbox"/> 過去1年間に、環境保全活動（自然観察会や学習会など）に参加している。	14.0→16.4
		質 問 項 目	回答者率(%) (H18→H22)															
<input type="checkbox"/> 日ごろから省エネや省資源など地球環境に心がけた生活をしている。	63.6→67.1																	
<input type="checkbox"/> 地元（西脇市や北播磨地域など）でとれた農産物・畜産物を意識して購入している。	42.9→52.1																	
<input type="checkbox"/> 有機農産物を意識して購入している。	40.5→43.9																	
<input type="checkbox"/> 身近な自然環境や生活環境を守るために、近所のごみ拾いなど何らかの行動をしている。	38.3→43.2																	
<input type="checkbox"/> 過去1年間で生涯学習活動（各種講座や研修会など）に参加している。	25.0→30.0																	
<input type="checkbox"/> 何らかの市民活動や地域活動（ボランティア活動・NPO活動・まちづくり活動など）に参加している。	22.9→28.8																	
<input type="checkbox"/> 過去1年間に、環境保全活動（自然観察会や学習会など）に参加している。	14.0→16.4																	
40	環境保全活動	様々な企業が本市においてCSR活動の取組を実践することに魅力を持つような体制づくりも大切なことです。																



見直し案	見直す理由														
市民アンケートに見る環境意識と行動 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">質 問 項 目</th> <th style="width: 20%;">回答者率(%) (H24→H28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・省エネや省資源などに心がけ、地球環境やさしい生活をしている。</td> <td>68.9→67.5</td> </tr> <tr> <td>・地元（西脇市や北播磨地域）でとれた農産物・畜産物を意識して購入している。</td> <td>45.9→52.5</td> </tr> <tr> <td>・マイバックの持参や再利用が可能な環境に配慮した商品を購入している。</td> <td>74.3→75.3</td> </tr> <tr> <td>・過去1年間で生涯学習活動（自発的な学習、サークル活動や講座の参加など）をしたことがある。</td> <td>33.1→31.0</td> </tr> <tr> <td>・過去1年間に、市内外への移動に公共交通（路線バス）・鉄道などを利用したことがある。</td> <td>42.6→41.2</td> </tr> <tr> <td>・過去1年間に、地域でのまちづくり活動（自治会行事や子ども会活動など）に参加したことがある。</td> <td>57.5→54.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：西脇市「平成28年度西脇市まちづくり市民アンケート調査結果報告書(平成28年10月)」</p>	質 問 項 目	回答者率(%) (H24→H28)	・省エネや省資源などに心がけ、地球環境やさしい生活をしている。	68.9→67.5	・地元（西脇市や北播磨地域）でとれた農産物・畜産物を意識して購入している。	45.9→52.5	・マイバックの持参や再利用が可能な環境に配慮した商品を購入している。	74.3→75.3	・過去1年間で生涯学習活動（自発的な学習、サークル活動や講座の参加など）をしたことがある。	33.1→31.0	・過去1年間に、市内外への移動に公共交通（路線バス）・鉄道などを利用したことがある。	42.6→41.2	・過去1年間に、地域でのまちづくり活動（自治会行事や子ども会活動など）に参加したことがある。	57.5→54.9	直近のアンケート結果を掲載
質 問 項 目	回答者率(%) (H24→H28)														
・省エネや省資源などに心がけ、地球環境やさしい生活をしている。	68.9→67.5														
・地元（西脇市や北播磨地域）でとれた農産物・畜産物を意識して購入している。	45.9→52.5														
・マイバックの持参や再利用が可能な環境に配慮した商品を購入している。	74.3→75.3														
・過去1年間で生涯学習活動（自発的な学習、サークル活動や講座の参加など）をしたことがある。	33.1→31.0														
・過去1年間に、市内外への移動に公共交通（路線バス）・鉄道などを利用したことがある。	42.6→41.2														
・過去1年間に、地域でのまちづくり活動（自治会行事や子ども会活動など）に参加したことがある。	57.5→54.9														
様々な企業が本市においてCSR活動の取組を実践することに価値と魅力が持てる環境づくりをしていくことが大切です。	文言整理														